

ウラジオストクで考える
フィンランド駐日大使と視察に訪れて

開倫塾
塾長 林 明夫

1. はじめに

- (1)おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。今朝も「開倫塾の時間」をお聴きいただき、ありがとうございます。
- (2)先週の 10 月 5 日(水)から 10 月 8 日(土)までロシアのウラジオストクへ行ってきましたので、今朝の「開倫塾の時間」では、そのお話を少しさせていただきます。

2. ウラジオストックで考える フィンランド駐日大使と視察に訪れて

- (1)なぜウラジオストクへ行ったかといいますと、来年、2012 年の秋に APEC(アジア太平洋経済協力会議)がウラジオストクで開かれます。日本にあるフィンランド大使館の駐日フィンランド大使から、フィンランドのビジネスマンと日本のビジネスマンがウラジオストクへの経済視察団を作るので一緒に行きませんかというお誘いがありました。そこで、私もロシアについては非常に興味があったので、行かせていただくことになりました。今年、2011 年の 11 月にはアメリカのハワイで APEC が行われ、来年はロシアのウラジオストクで行われます。ですので、1 年前から注目をして、どのような様子で行われるのかについて勉強をしに行きました。
- (2)現在ウラジオストクは、人口 60 万人ぐらいの町ですが、ゆくゆくは 150 万人ぐらいの大都市にしたいということです。そのために、APEC を一つのチャンスにして町を整備しようということだそうです。APEC はウラジオストクの 2 つある島の後ろの島を会場として行われますが、とてもびっくりするような様子を目にしました。何に驚いたかといいますと、飛行場から町まで片側 4 車線の高速道路を造っていることです。小さな道しかなかったところに 2 年間で高速道路を造るということです。本当に大工事です。驚くような粉塵や砂塵が上がっていて、その中で工事が行われていました。突貫工事の極致のような工事が行われていました。
- (3)また、町の近くに 2 つの島があり、遠い方の島で APEC が開かれるのですが、その島へ 2 つの栈橋を造っていました。1 つは 3.5 キロメートルの世界で一番長い栈橋で、その手前には 1. 数キロメートルの栈橋を造っていました。しかし、それらはまだ途中までしかできていませんでした。日本の四国に架かっている瀬戸大橋のような橋を 2 ~ 3 年で造ってしまうわけですので、このことにも本当に驚きました。

- (4)ウラジオストクの地域は経済的にはあまり活発ではなく、今までは失業率が10%以上でしたが、公共工事のためか今は失業率が1.9%、ほとんどゼロに近くなり、町じゅうの人たちがいろいろな公事やいろいろな仕事に従事していました。それくらいの国を挙げての大工事、大公共事業がウラジオストクで行われていました。
- (5)一緒に行ったフィンランドビジネスマンの方々は、ウラジオストクに工場があったり、これからウラジオストクを通じていろいろなものを日本に輸出しよう、ロシアで作ってもらったものを日本やアジアの国に輸出をしようということで、非常に一所懸命にやっていました。視察には、日本からはフィンランド大使も一緒に行かれ、フィンランドにいるロシア大使も一緒に行きました。2人の大使がフィンランドと日本のビジネスマンを一緒にウラジオストクへ連れてきたということは、とても珍しいことだそうで、マスコミの方が50名ぐらい記者会見の会場に取材に来ていました。フィンランドのテレビ局やラジオ局、新聞社の方ももちろんいましたが、ロシアの大きな通信社のテレビ局やラジオ局、新聞社の方など、50名ぐらいの取材陣が来ていました。このような訪問が非常に珍しいということだと思いました。このことについては、フィンランドは相当広報活動が上手だなと私は思いました。単に、フィンランドのビジネスマンがAPECが開かれるウラジオストクに行っても取材の方はあまり来てくれません。しかし、日本人を連れて行ったことが本当に珍しいということで取材をされたからです。経済外交というのは、このくらいのしたたかさが必要だと思いました。我々も見学をさせていただいて大変有り難かったのですが、この訪問は、大変フィンランドのためになってよかったのではないかと心の中で思いました。
- (6)出掛ける前日には、私も広尾にあるフィンランド大使館にお招きいただきまして、ブリーフィングとともに正式な昼食会があり、非常に勉強になりました。そこに、駐日ロシア大使がいらっちゃって、そのロシア大使から、プーチン氏が来年の大統領選挙に出馬することについてお話を伺いました。
- (7)日本人の方がフィンランドの方と一緒にAPECの会場であるロシアに行くことは珍しいので、本当に注目を浴びた経済視察団でした。行ってみてわかったことは、ウラジオストクは非常によいところだということです。海が近く軍港といわれていますが、船がたくさんあって景色もよいところです。天気もよく、今の時期はだいたい18~20度で過ごしやすいときで、非常に快適な旅行でした。日本からウラジオストクは近いですので、皆さんもぜひ訪問していただきたいと思います。
- (8)APECの会場も大きな大きな会場を作っております。この会場のあとには、プーチン氏の直轄の大きな大学、最先端の大学を作って、ロシアの方や日本も含めたアジアの方のいろいろな研究活動の場として使うようです。ぜひ、APECやウラジオストクに興味を持っていただければと思います。

3. おわりに

最後になりますが、改めてフィンランドの方は賢いなあと思いました。